

— 本気の力！市政を変える！

『 いたう順一 メールマガジン 』 2011/6/24 # 1

こんにちは！ 宝塚市議会議員 いたう順一です。

皆様にはお元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、本年4月24日投開票の宝塚市議会議員選挙で当選させていただいてから、2ヶ月を迎えました。この度、いたう順一の活動や考え方を皆様にお伝えさせていただきたく、メールマガジンを発行させていただくこととなりました。6月議会が、本日閉幕したことにあわせて第1号とさせていただきます。何卒お付き合いのほど宜しくお願い申し上げます。

近況ですが、当選後は、議員報酬供託手続き・6月宝塚市議会・各種会議への出席等慌しく過ごして参りました。

また、常任委員会の所属は、総務委員会で、会派はどこにも所属せずしばらくは一人で頑張ろうと思っています。

■議員報酬の供託

悪化している現状の宝塚市の財政状況を改善し、必要な市民サービスを充実させ、そして将来に渡り持続可能な宝塚市であるためには、行政コストの削減が急務です。

そのためには、まず、議員報酬削減によって議員自らが範を垂れることが、財政改革を訴えて当選させていただき、議員となりました者の最優先課題であると考えております。

そこで、5月20日に支給された、4月の日割りの分を含めて630,333円の議員報酬のうち、2割相当額の126,067円を6月1日付けで、6月20日支給分、122,000円を6月20日付けで、供託させていただきました。

当選後、一ヶ月間、議員報酬の返還を議会事務局とさせていただいたり、或いは法務局とやり取りをさせていただいた結果、最初は、供託することに法務局も難色を示しておられましたが、私の意思を法務局でも認めていただくことが出来ました。

今後、議員報酬削減の条例が出来るまで、市議会議員の報酬を受け取る限り、私は毎月、伊丹の法務局に通うこととなります。

公職選挙法上、議員報酬を宝塚市に寄付することは許されておりませんので、本来ならば、一日も早く、議員報酬削減の条例が施行され、供託という形で遠回りをせずとも、財源確保に議員報酬が削減された

ものを当てたいと思いますが、議会で可決されなければなりませんので、まずは、議員報酬2割削減を訴えて当選させていただきました私の政治姿勢を、議員報酬の2割を供託するという形で示させていただきました。

■6月議会

5月27日から6月24日の日程で、宝塚市議会第3回（6月）定例会が開催されました。いとう順一も、宝塚市議会で初めての一般質問を実施致しました。下記が質問内容です。

質問1・2に関しては残念ながら納得のいく回答は得られませんでした。

- 1 現状の宝塚市の財政状況について
 - (1) 財政状況に対する当局の認識と今後の見込みについて
 - (2) 財政状況改善に対する方策について
 - (3) 事業仕分けについて
 - (4) 自校炊飯の設備投資の凍結について
- 2 市長公約に対する進捗状況について
 - (1) 副市長・教育委員の公募制について
 - (2) 市立病院産婦人科の再開について
- 3 エネルギー施策について
 - (1) 新エネルギー活用の推進について
- 4 産業振興について
 - (1) 情報コンテンツ産業に対する投資について
 - (2) 関空・伊丹空港統合による宝塚市の取り組みについて
 - (3) 観光産業への考え方について
- 5 急増する独居老人の対策について
- 6 市民主体のまちづくりを促す方策について
 - (1) 市民参画の裾野を広げる方策について

■いとう順一の一般質問の様子は、83.5MHz FM宝塚、7月14日（木） 14：40頃から放送予定です。是非お聞きください

■また、宝塚市の厳しい財政状況の中、市内公立小・中学校で、自校炊飯という名目で給食設備を拡充する計画を中川市長の肝いりで昨年からはじめています。昨年はテストケースということで、7校が始めていますが、その検証もろくにしないまま、今年は6800万、来年は約1億8000万円をかけて、市内全校行なうとしています。

一般質問での発言に引き続き、この厳しい財政状況の中、特に不急のこの事業予算を凍結する決議文を、本日宝塚市議会に提出致しましたが、残念ながら、不採択となり今年の実業は予定通り進むことになりました。

■今後、宝塚市が、市民主体のまちづくりを目指して行くには、新しい公共の概念を市民の皆様にご理解をいただくことも大切ですが、ご理解をいただくには、まずは、税金で仕事をさせていただいている政治家や行政職員が身を切るところから、始めなければ、市政や議会への信頼は得られないと思います。

必要などころに必要な予算を回すことができ、市民が安心して暮らしていけることが出来る予算を確保し、そしてこれからの宝塚が夢を持てるまちであり続けるため、未来に対する投資が出来るよう、また、負の遺産を出来るだけ残さないように次の世代にバトンを渡していかなければならないと考えるなら、いくらお金があっても足りない状況です。

今後もしっかり行財政改革に取り組む宝塚市であるよう、議員として全力を尽くして参ります。

■このメールマガジンは一ヶ月に 2 回程度発行させていただく予定にしておりますが、宝塚市の情報・いとう順一の考え方などを盛り込んで参りたいと考えております。

是非、ご一読賜り、ご意見など頂戴できれば幸いに存じます。

なお、メールマガジン停止のご希望や、ご意見や、失礼ながら名前が間違っている等々、下記までお願い申し上げます。

⇒ tukuru@jito.jp または jito11011@live.jp

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

本気の力！市政を変える！伊藤順一

〒665-0033 宝塚市伊子志 2-17-8-4F（自宅兼事務所）

TEL&FAX 0797-72-2130

ホームページ <http://jito.jp>

（ブログを中心にした HP です。約 3 日から 4 日一度更新をしています。是非こちらも宜しくお願いします。）

携帯メール jito11011@docomo.ne.jp PC jito11011@live.jp

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★